

インスタントリプレイの確認。

オンタリオ・ホッケーリーグでは、放送品質のAxisネットワークカメラを使用して、審判員によるゴールやペナルティの判断に役立てています。



企業名:

オンタリオ・ホッケーリーグ

所在地:

カナダ、オンタリオ州

業種:

スタジアム/イベント会場

アプリケーション:

インスタントリプレイの確認、ブロードキャスト

Axisパートナー:

Northern Alarm Protection社

課題

ホッケーは動きの速いスポーツです。スラップショットでは、バックが時速145 km以上の速さで氷の上にたたきつけられることもあります。アタッキングゾーンでは、選手がせめぎ合い、スティックやスケートの画像がぼやけてしまう場合が少なくありません。この激しい攻撃の中、最大30フレーム/秒のビデオカメラでゴールやペナルティを確認することは、ほぼ不可能でした。オンタリオ・ホッケーリーグ (OHL) は、確実な判定を行うため、より高速で高解像度の録画テクノロジーを必要としていました。

解決策

リーグは、Axisパートナーのシステムインテグレーター、Northern Alarm Protection (NAP) 社に協力を求めました。NAP社は、20か所にあるリーグの各アイスリンクに、Axis V59 PTZ Network Camera 2台をネットに向けて、Axis Q16カメラ1台をゲームクロックに向けて、設置しました。

カメラは、Axis Camera Stationビデオ管理ソフトウェアによって制御されます。このソフトウェアには、カスタマイズされたソフトウェアインターフェースが組み込まれており、リモート操作でライブ映像をリーグ本部の審判員と、試合を放送するローカルネットワークテレビ局にデュアルストリーミングします。また、Axis Camera Stationは、インスタントリプレイシステムにネットワークテレビのカメラ映像を受け入れます。これにより委員会は、複数のカメラアングルから各ペナルティとゴールを確認してから、審判の判定に対する最終決定を下すことができます。

効果

映像をフレームごとに拡大できるため、委員会は審判の判定の確認に自信を持って数秒で決定を下し、試合の流れを止めずに続行させることができます。また、アクシスのカメラのHDTV画質により、リーグの企業パートナーは、ゴールキーパーのネットの背後にある広告スペースの高い視認性を得ることができます。



次世代のプロホッケー選手の育成

オンタリオ・ホッケーリーグ (OHL) は、1890年代に設立された「ジュニアホッケー」から発展しました。1933年から1934年にかけて、「ジュニアA」部門が作られました。それ以来、リーグは20チームへと拡大し、1シーズンで680試合が行われています。この競争の激しいリーグには、米国のオンタリオ州と、国境を接する複数の州から16~21歳の選手が集まります。メジャージュニアホッケーリーグに分類されているOHLは、ナショナルホッケーリーグにとって最高レベルのドラフト候補選手をそろえています。

OHLは、プロホッケーリーグと同じプロ意識を持って試合の判定を行うようあらゆる努力を払っています。ゴール、ペナルティを問わず、各判定は即座に審議・確認してからプレイを再開します。しかし、標準解像度で30フレーム/秒でしかストリーミングできないアナログビデオカメラを使用して、きわどい判定を確認することは困難でした。

オンタリオ・ホッケーリーグの審判員長、コンラッド・アッシュェ (Conrad Hache) 氏は、次のように述べています。「旧式のアナログシステムを10年以上使用していました。バックを見ようとズームすると、画像が非常に荒くなってしまいます。バックがラインを超えたかどうか、時間切れだったかどうかを確認するため、高解像度の映像とフレームごとに確認できる機能が、どうしても必要でした」

Northern Alarm Protection社は、放送品質を誇るアクシスコミュニケーションズの次世代ネットワークビデオカメラを提案しました。この新しいビデオプレイシステムには、各ネットにフォーカスを合わせた、30倍光学ズームを備えるHDTV品質のAXIS V59 PTZ Network Camera 2台と、ゲームクロックを監視するHDTV品質のAXIS Q16カメラ1台が含まれています。どちらのカメラも、最大60フレーム/秒でのストリーミングが可能です。AXIS Camera Station ビデオ管理ソフトウェアは、カメラを管理し、アリーナのビデオ判定者と会場外にいる委員会が、リモートで映像を確認できるようにします。

OHLは、NAP社に別の課題を投げかけました。Northern Alarm Protection社の社長兼CEO、デヴィッド・コジエル (David Koziel) 氏は、次のように述べています。「リーグでは、カメラ映像をローカルテレビ局のトラックに送り、試合を放送するときに別のカメラアングルを使用できるようにしたいと考えてい

ました。また、OHLは、放送局のビデオ映像を取得し、アクシスのビデオプレイシステムに入れたいとも考えていました」

システム間で信号を変換するAntrica社のソフトウェアとハードウェアを追加し、デュアルストリーミング拡張ソリューションに、OHL委員会が各判定でさらに多くのカメラアングルを確認することできる、デュアルスクリーン形式が組み込まれました。さらに、これによってローカルネットワークテレビ局は、判定中のプレイをネットの上から見た、迫力ある映像を視聴者に放送することができます。

OHLは、まずオンタリオのウィンザーで開催されたリーグの国内選手権、2017年メモリアルカップで新しいインスタントビデオプレイシステムをテストしました。コンラッド・アッシュェ氏は次のように語っています。「この全国放送のイベントはすべて順調に終わりました。そしてこの成功を基に、20チームすべてが、それぞれのリンクにアクシスの新しいビデオプレイテクノロジーを導入しました」

ドラフトに向けた統計データの取得

統計データは、将来有望な選手にとって、メジャーリーグにドラフトされるための履歴書となります。アクシスのカメラでプレイを録画することは、OHL委員会が選手の統計データを検証するための優れた手段であると実証されています。

「シーズン中に選手が獲得するゴール数やアシスト数に金銭的な利益はありませんが、子供たちは彼らが受けるに値するすべてのポイントが確実に与えられることを望んでいます」とアッシュェ氏は語っています。



ネット上に取り付けられたAXIS V5915-V Network Cameraと、ゲームクロックを監視するAXIS Q1615。



「60フレーム/秒で録画できる高解像度のAxisカメラをネット上に配置することで、審判の氷上での判定を即座に確認したり修正したりできます。テレビ放送の映像をAXIS Camera Stationビデオ管理ソフトウェアに統合できるため、あらゆるゴールとペナルティを複数の角度から確認することができますというメリットもあります」

オンタリオ・ホッケーリーグ、審判員長、コンラッド・アッシュエ (Conrad Hache) 氏。

モチベーションの一つは、多くの選手が、最終的にこの統計データがプロのホッケーチームでのキャリアにつながることを期待しているということです。実際、オンタリオホッケーリーグは、ナショナルホッケーリーグにドラフトされる選手の割合が最も高いリーグの1つです。

より正確な審判の判定

フレームごとにプレイを確認できる機能は、OHLチーム間での決定に対する対立を最小限に抑えるために役立っています。アッシュ氏は、バックと選手がブルーラインを越えた瞬間を正確に確認することができた、きわどい判定のいくつかを例として挙げました。彼は、単一のフレームをズームすることで、バックがゴールキーパーの足の下のゴールラインを超えたことを確認し、判定を正当化することができたときのことについて語りました。

すべてのプレイを映像でとらえることのもう一つの利点は、審判や選手に対する優れた教育ツールを得られることです。OHLは、試合の進行中に審議されたペナルティの記録をすべて保存しています。これにより、アッシュ氏はすぐに豊富な映像にアクセスすることができます。

アッシュ氏は、次のように述べています。「選手に特定の判定のクリップを見せて、その判定が正しい理由を説明することができます。逆に、特定の判定が間違っていた理由を審判に示し、どうすべきであったかということについて指導することができます」

利点のハットトリックを獲得

試合放送中のリプレイ映像や企業パートナーの広告スペースの映像が非常に鮮明であることに加えて、チームオーナーにとっての大きなセールスポイントは、アクシスのソリューションの柔軟性と拡張性です。「最初に検討したシステムの多くには、制限がありました」とアッシュ氏は語りました。「アクシスなら、新しいソリューション一式を購入することなく、必要に応じてカメラを追加することができます」

アッシュ氏はまた、次のように述べています。「チームのオーナーは、必要に応じてブルーライン上に放送局のカメラを追加できるという点を気に入っています。また、リンクに別のカメラがある場合は、そのカメラをアクシスのシステムに接続し、有効に利用することができます」



委員会は、スコアボードに向けたAXIS Q1615 Network Cameraとネット上のAXIS V5915 PTZ Network Cameraのデュアルストリーミングカメラ映像から、第2ピリオド終了まで0.9秒の時点にバックがゴールラインを超えたことを確認しました。



Axis Communicationsについて

アクシスは、セキュリティの向上とビジネスの新しい推進方法に関する洞察を提供するネットワークソリューションを生み出すことで、よりスマートでより安全な世界の実現を目指しています。ネットワークビデオ業界をけん引するリーダーとして、アクシスは映像監視、インテリジェントアプリケーション、アクセスコントロール、音声システムなどに関連する製品とサービスを提供しています。アクシスは50ヶ国以上に3,000人を超える熱意にあふれた従業員を擁し、世界中のパートナーと連携することで、カスタマーソリューションをお届けしています。アクシスは1984年に創業し、スウェーデン・ルンドに本社を構えています。

より詳しい情報はwww.axis.comをご覧ください。

アクシスのソリューションについて詳しくは、www.axis.com/solutions-by-industry/stadiums-and-venuesをご覧ください。

アクシスの製品およびソリューションの販売会社は、www.axis.com/where-to-buyをご覧ください。

©2019 アクシスコミュニケーションズ AB AXIS COMMUNICATIONS、AXIS、ETRAX、ARTPECおよびVAPIXは、さまざまな国におけるAxis ABの登録商標または出願中の商標です。その他、記載の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。記載の内容は予告なく変更することがあります。

